

赤旗読者ニュース

北上かわら版

安倍改憲を許さない！



3日早朝に行われた「九条の会」スタンディング（有田町交差点）

区制度のカラクリと民進党の演説後鈴木市議は「小選挙と訴えました。安倍改憲を阻止しましよう」と訴えました。

日本国憲法公布71周年にあたる3日、国会周辺をはじめとする全般的な「安倍改憲を許さない」行動が取り組まれました。北上では日本共産党や九条の会が朝

記念日に「憲法9条に自衛隊を書き込む」とのべ、10月23日には「党内で議論を深め自査会に提案していきたい」とのべています。また、自民党改憲推進本部は8日に幹部会を開き、党改憲案取りま

どとのべています。また、安倍政権での改憲に反対（賛成は36%、朝日10月25日調査）しています。

街頭からの訴えでは日本共産党の鈴木健二郎市議は、総選挙の結果報告と決意を冒頭に述べ安倍改憲については、「集団的自衛権行使容認や戦争法（安保法制）の成立によりすでに武器を持つ自衛隊が海外に派兵されている。憲法9条に自衛隊を書き込むことは戦争をしないなどと定めた第1項と第2項をなきものにし、名実ともに日本を海外で戦争できる国にするもの。安倍政権の支持率は選挙前から下落しており決して支持が広がっているものではない。安倍改憲も9条改憲も多数の国民が反対している。昨年の参院選、今回の総選挙と同様力合せ、市民と野党の共闘で安倍改憲を阻止しましょう」と訴えました。

日本共産党、九条の会が街頭から訴え

らの訴えを行いました。また、すでに配布しておいた署名が市民から郵送等で続々届くなり、改憲阻止の機運の高まりが見られました。

憲勢力は改憲発議に必要な3分の2を超え8割の議席を得ていますが、国民の45%が安倍政権での改憲に反対（賛成は36%、朝日10月25日調査）しています。



街頭から訴える
鈴木健二郎議員ら（3日市内）

◆講演会のご案内◆

「衆議院総選挙の結果と今後の展望について」

日時 11月23日(木・祝日)
午後2時(講演は1時間予定)
会場 黒沢尻西地区交流センター
講師 斎藤 信 岩手県議会議員

参加費：無料
主催：北上地区革新懇話会
※講演会終了後に
北上革新懇話会の
総会を行います。



健児執行委員長は「第36回地方自治研究集会」を8日、市民交流プラザで開催しました。自治研は毎年「地方自治を住民の手に」をスローガンに、行政や地域の垣根を越えて率直な意見を交換する場として行われているもので、今回のテーマは「ビッグデータで私たちの街を考える」。例えば、勝地さくらまつりの渋滞について、ビッグデータとは「インターネットの普及等で生まれた多様なデータを扱う仕組み」と言われていますが、今回は市の困りごとなどについて、さくらまつりの渋滞について考えようというものです。



立花自治協会長の輕石強さん、北上観光コンベンション協会長の八重樫守民さんらが対策について発言。パネルディスカッションも行われました。

市職労が自治研を開催

集会では、市観光課の及川

勝彦課長が取り組みの報告。

北上観光コンベンション協会長の八重樫守民さんらが対策について発言。パネルディスカッションも行われました。

